

I 平成25年度事業報告

総括

1 役員会の開催と主な事項

(1) 評議員会・理事会の開催と主な事項

- ・平成25年 2月 1日 公益財団法人鳥取県畜産振興協会として法務局登記
- ・平成25年 4月17日 第1回理事会 平成24年度決算認定、諸規程の制定、理事候補選定ほか
- ・平成25年 5月10日 第1回評議員会 平成24年度事業決算承認
平成25年度予算承認、評議員及び理事の補欠選任ほか
- ・平成25年 8月29日 評議員、理事、監事合同による牧場視察研修(大山放牧場)、
平成25年度業務執行状況報告ほか
- ・平成25年12月12日 第2回理事会並びに評議員会 理事長死去に伴う理事の選任ほか
- ・平成26年 1月23日 第3回理事会並びに評議員会 平成25年度補正予算の承認、
平成26年度事業計画・予算の承認、
平成25年度事業執行状況報告

(2) 監査

- ・平成25年 3月28日 平成24年度決算監査

2 各事業報告

(1) 放牧預託事業

平成25年度の放牧延べ頭数は、計画377,930頭に対して実績は379,246頭と1,316頭の増頭で、ほぼ計画頭数どおりであった。また、預託料収入は予算204,065千円に対して205,085千円となり、1,020千円の増額であった。

平成24年度対比をすると下表のとおりで、預託収入は前年対比105.3%と約10,237千円の増収となった。この要因としては、大山放牧場の新築牛舎が早期に完成したことにより、入牧受け入れが早まったことと併せ、飼料給与組み立て改善の効果により、受胎頭数が増加したことが、入牧頭数の増加に繋がり、預託料収入の増額となった。

牧場名	畜種	預託延頭数(頭)		預託料収入(千円)		前年対比(%)
		平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	
鳥取	乳用牛	189,920	138,432	106,355	77,522	72.9
	肉用牛	65,041	66,296	29,268	29,833	101.9
大山	乳用牛	105,759	174,518	59,225	97,730	165.0
	肉用牛	65,041	66,296	29,268	29,833	101.9
合計	乳用牛	295,679	312,950	165,580	175,252	105.8
	肉用牛	65,041	66,296	29,268	29,833	101.9
総計		360,720	379,246	194,848	205,085	105.3

(2) 人工授精・移植・採卵事業

平成25年度事業計画は人工授精1,500頭、受精卵移植205頭、採卵事業94頭としての収入を予定していたが、採卵実施頭数が大幅に増加したことにより、手数料収入の増収となった。採卵希望は年々増加傾向にあり、採卵事業は放牧預託事業に次ぐ重要な事業となるものと思われる。平成24年度との対比は以下のとおりである。

i) 収入状況

区 分	事業名						収入合計 (千円)
	人工授精事業		受精卵移植事業		採卵事業		
	頭数	収入(千円)	頭数	収入(千円)	頭数	収入(千円)	
平成24年度	1,549	3,233	154	1,617	33	929	5,779
平成25年度	1,501	2,848	176	2,152	112	4,855	9,855
前年対比(%)	96.9	88.1	114.3	133.0	339.4	522.6	170.5

ii) 受胎状況

区 分	人工授精		受精卵移植	
	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度
実施延頭数(頭)	1,549	1,501	333	313
受胎頭数(頭)	798	786	154	176
受胎率(%)	51.5	52.3	46.3	56.2

(3) 牧草管理事業

草地管理は、数年来全面更新・簡易更新に取り組み、雑草の駆除など草地の改善を行っている。今年度は草地の全面更新を3.1ヘクタール、簡易更新を41.8ヘクタール実施した。

今年度から湖山池周辺農作地約31ヘクタールで、永年牧草の収穫委託を受け604.5tを収穫し、給牧草採食量の確保を図った。

また、収穫量を上げるために、58.5ヘクタールの草地で収量向上を図るため、場内堀巴1,500㎡を採草地に施用した。鳥取・兵円・大山では多収型牧草の栽培・収穫を行い、全体での牧草収穫量は約1,663.1tで、昨年の895.7tと比較して767.4t増加(増85.6%)しており、栽培技術の向上により年々収量が増えている。

i) 牧草生産状況

区 分		鳥 取	湖山畑	大 山	計
採草延べ 面 積	平成24年度	118.2ha	—	53.7ha	171.9ha
	平成25年度	115.4ha	31.0ha	95.8ha	242.2ha
	前年度対比	97.6%	—	178.4%	140.9%
牧草収 穫 量	平成24年度	599.3t	—	296.4t	895.7t
	平成25年度	629.0t	604.5t	429.6t	1,663.1t
	前年度対比	105.0%	—	145.0%	185.6%
平均収 量	平成24年度	5.3t/ha	—	5.1t/ha	5.2t/ha
	平成25年度	5.5t/ha	19.5t/ha	4.5t/ha	6.9t/ha
	前年度対比	103.8%	—	88.2%	132.7%

ii) 自給率

区 分	牧草購入量	牧草収穫量	自給率
平成24年度	1,987.0t	889.3t	32%
平成25年度	1,606.2t	1,663.1t	51%
前年対比	80.8%	187.0%	

iii) 草地更新

区 分	鳥 取	大 山	合 計
全 面 更 新	1. 0ha	2. 1ha	3. 1ha
簡 易 更 新	30. 5ha	11. 3ha	41. 8ha
合 計	31. 5ha	13. 4ha	44. 9ha

(4) その他収入状況

大山放牧場隣接の樹水牧野約22. 6ヘクタールの荒廃草地に、チモシー牧草播種更新の依頼を、鳥取県及び大山乳業農業協同組合から委託され、委託費として2, 100千円を受け入れた。なお、この取り組みについては、毎年一番草は地域の牧野組合が刈り取りし、2番草を当協会が収穫することで合意し実施したもので、次年度以降から高品質な自給牧草の確保ができる体制となった。

(5) 支出状況

良質な自給飼料の確保に務めた結果、飼料費の大幅な削減が図られ経営安定の一助に繋がった。

平成22年度から大発生している放牧病のピロプラズマ病について、本年度も引き続き全頭予防対策を徹底したことと、ピロプラズマ病の発生頭数は減少したものの、治療に時間と経費が掛かり医薬材料費の支出が高んだ。

大山乳業農業協同組合から10名の職員が出向しているが、この人件費総額の1/2を当協会が経費負担することで合意したため、負担金が増額となった。

(6) ふれあい牧場等の整備

大山放牧場のふれあい施設「大山まきば」は大山乳業農業協同組合に管理委託し営業している。今年度は3月16日から12月1日まで開場したが、7月中旬の天候不順や、落雷により施設の一部が損傷したための一時的な営業中止。8月からは台風の影響による営業日の縮小があった一方、出雲大社遷宮や鳥取道の開通により来場者数に期待をしていたが、来場者数は303, 066人で昨年対比95. 0%と減少した。

3 業務内容の見直し、改善事項

(1) 受精採卵事業の改善

平成25年4月1日から牛採卵事業を鳥取県から当協会が県下一円を対象とした採卵事業を引き継ぐこととなり、放牧産採卵事業から農家庭先採卵事業として取り組むことになった。

また、農家採卵をスムーズに実施するため採卵車の導入を行い、今年度41戸の農家から約150頭の採卵を実施し、回当たりの平均採卵数を4. 5卵(目標5卵/回)と好成績を残すことが出来た。

事業報告にかかる附属明細書

記載事項なし